

委員会活動報告書

委員長名 鈴木 良美

【委員会名】		健康危機管理対策委員会
【メンバー】		◎鈴木 良美(東京医科大学)、○石田 千絵(日本赤十字看護大学)、山下留理子(徳島大学)、井口 理(日本赤十字看護大学)、嶋津多恵子(国際医療福祉大学大学院)、當山 裕子(琉球大学)、佐藤 太地(日本赤十字看護大学)、堀池諒(大阪医科薬科大学)、¥山口 拓允(東京医科大学) *奥田 博子(国立保健医療科学院)、*河西 あかね(全国保健師長会) *佐々木 亮平(岩手医科大学)、*永野 智子(熊本県看護協会)
		50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、() 所属名
【活動方針】		1. 感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現状と課題に関する調査の分析結果を公表し、教育の強化に役立てる。 2. 上記の調査を踏まえて、健康危機管理教育向上のための視聴覚教材(感染症パンデミック・災害)を作成し、会員校へ配布する。 3. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。
		2024(令和6)年度
		1. 感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現状と課題に関する調査の分析結果を公表し、教育の強化に役立てることができる。 2. 上記の調査を踏まえて、健康危機管理教育向上のための視聴覚教材(感染症パンデミック・災害)を作成し、会員校へ配布することができる。 3. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。
活動報告		1. 保健師学生および新任期保健師の感染症の健康危機管理に関する能力向上を目指して行った調査を公表した。①保健師教育機関への質問紙調査について、教員対象の調査および学生対象の調査を「保健師教育」に投稿し受理された。②新任期保健師へのインタビューは投稿中である。 2. 視聴覚教材「健康危機管理の保健師活動:アドバンスド版」感染症編(2枚1組)、自然災害編(2枚1組)を完成させ、関連資料とともに会員校及び関係機関に郵送した。 感染症編は、教員を対象としており、DISC1はシミュレーション教育の基礎を解説し、DISC2はシミュレーション教育の実際(個人への積極的疫学調査、施設へのクラスター対応)を紹介している。災害編は、学生を対象としており、DISC1は東日本大震災と熊本地震で被災した保健師の経験を基に構成した。DISC2は、4つのキーワードに基づき、気になったワードを選択して考えられるように構成した。上記の映像資料にGISに関する資料も加え、アクセス可能なURLをメールにて会員校及び関連機関に送付した。 3. 今年度は対応すべき事案がなかったため、災害発生時の会員校支援は実施していない。しかし、令和6年能登半島地震の後に、日本公衆衛生看護学会および日本地域看護学会の健康危機関連委員長と情報を共有し、保健師に役立つ内容を会員校にも発信した。今後も関連団体との情報共有を継続するとともに、さらなる災害発生に備えた体制整備が重要であると考えている。